

目次

概要

[エンドポイントはなぜ Codian MCU/IP VCR に接続されると送信するための別の解決を報告し、受け取りますか。](#)

関連情報

概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

Q. Codian MCU/IP VCR に接続されるとエンドポイントが送信するための別の解決を報告し、受け取る理由

A. Codian MCU および IP VCR はエンドポイントから各エンドポイントがそのために最適である解決を送信するようにいくつかの解決を受け取ることができます。たとえば、これはエンドポイントのカメラの解決がエンドポイントのユーザ設定設定によって決まることができます。通常より古いエンドポイントが CIF (288x352) または SIF (240x352) に制限されるかもしれない一方、高い定義 エンドポイントに高い定義カメラがありま 720p (1280x720) を送信するようにそれがします。

MCU がエンドポイントに送り返す解決は参加要素が彼/彼女のレイアウト意見を変更すると同時に会議、またはペイン配置の間に変わる可能性が高いです変更しますのでアクティブなスピーカー変更。

- エンドポイントがフル スクリーン現在のスピーカーを (音声起動型モード) 表示する、エンドポイントが表示できるように) 解決はスピーカーのカメラのそれです (または同様に密接にそれに。これはたとえばエンドポイントが CIF を送信し、SIF を受け取るようにするかもしれません。
- エンドポイントが連続表示 レイアウトを表示する場合、MCU は 4CIF、VGA また更に 720p (高い定義) のようなより高い解決を送信することを選択するかもしれません。これは個々のペインのビデオ品質を維持して必要かもしれません; たとえば、高い定義 エンドポイントから届くビデオストリームを縮小することを避けるため。

MCU にエンドポイントに送信する解決の選択があるとき最大 フレーム フレーム率は各解決のために異なるかもしれません。動き/鋭さトレードオフ設定は MCU が管理者 プリファレンスに基づいて選択をするようにこのような場合使用されます。たとえば、選択することができフレーム レートを低分解能の送信のコストで維持しますよりもむしろより低いフレーム レートで高リゾリューションを、常に送信することを。(動き/鋭さトレードオフ設定を行うことについての情報のために、オンライン ヘルプを参照して下さい。)

ある特定のエンドポイントのための最大使用可能な解決はコール ビットレートにまた依存しています: 低いビットレートで高リゾリューションを非常に送信することは役立ちません。

IP VCR はエンドポイントが送信する解決にビデオを記録します。解決が遊ぶことのために使用した影響だけ設定する動き/鋭さトレードオフはエンドポイントに既存の記録を支持します。

(動き/鋭さトレードオフ設定を行うことについての情報のために、オンライン ヘルプを参照して下さい。)

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)